

旭川市子どもの生活実態調査 調査結果の主な内容

【1 調査世帯の状況】

調査票の回収状況

(件)

	小学2年生	小学5年生	中学2年生	高校2年生	計
保護者票	2,066	2,047	2,039	2,056	8,208
子ども票	—	2,044	2,023	2,222	6,289
合計	2,066	4,091	4,062	4,278	14,497

〔回収率 73.3%〕

年収階層別

(件)

	0~250 万円未満	250~500 万円未満	500~750 万円未満	750万円 以上	計
保護者票	815	2,635	1,929	1,555	6,934
	11.8%	38.0%	27.8%	22.4%	100.0%

※無回答を除く

〔注〕年収額は、回答のあった世帯年収額(税込)から、公的年金・社会保障給付金を含んだ推計額に調整しています。

家族形態別

(件)

	両親世帯	母子世帯	父子世帯	その他世帯	計
保護者票	6,394	1,161	149	23	7,727
	82.8%	15.0%	1.9%	0.3%	100.0%

※無回答を除く

【2 保護者の仕事】

- 母親の就労状況では、年収が低い世帯ほど土日祝日の勤務の割合が高く、また、母子世帯の方が両親世帯に比べ、早朝・夜間・土日祝日の勤務の割合が高くなっています。

〔報告書 P6〕

〔母親の平日日中以外の勤務〕

	0~250 万円未満	250~500 万円未満	500~750 万円未満	750万円 以上		両親世帯	母子世帯
土曜出勤	53.7%	51.8%	49.5%	46.9%	早朝勤務	9.4%	16.1%
日祝出勤	37.7%	34.9%	30.3%	30.6%	夜勤	9.1%	18.5%
					深夜勤務	6.7%	11.8%
					土曜出勤	49.3%	61.0%
					日祝出勤	31.8%	43.1%

【3 健康状態等】

- 年収が低くなるにつれ、健康状態が良くない割合が保護者・子どもともに高くなっています。〔報告書 P8・P9〕

〔健康状態〕

		0~250 万円未満	250~500 万円未満	500~750 万円未満	750万円 以上
通院または 体調が悪い	保護者	28.6%	22.5%	15.6%	16.5%
	子ども	13.1%	10.4%	9.5%	7.7%

- 子どもを病院に受診させられなかった経験のある人は全体の 19.1%でみられ、年収が低い世帯ほど、その理由として「お金がなかった」とする割合が高くなっています。

〔報告書 P10〕

〔子どもを受診させられなかった理由〕

	0~250 万円未満	250~500 万円未満	500~750 万円未満	750万円 以上
お金がなかった	29.1%	29.2%	13.3%	3.8%

【4 子どもの学校生活や学習状況】

- 学校生活では、部活動に参加していない理由として、年収が低くなるにつれ「家の事情」「お金がかかる」「アルバイトがある」とする割合が高くなっています。[報告書 P14]

〔部活動に参加していない理由〕

	0~250万円未満	250~500万円未満	500~750万円未満	750万円以上
家の事情	24.0%	20.5%	16.2%	9.7%
お金がかかる	34.6%	23.2%	14.1%	8.3%
アルバイトがある	45.3%	39.4%	27.6%	16.0%

- 学習状況では、「授業の理解度」「自分の成績」「成績の重要性」ともに年収階層による差がみられ、年収が高い世帯の子どもほど、肯定的な回答となっています。

[報告書 P14・P15]

〔授業の理解度〕

	0~250万円未満	250~500万円未満	500~750万円未満	750万円以上
いつもわかる	7.8%	10.5%	15.0%	21.3%
だいたいわかる	53.1%	58.7%	61.2%	55.0%

〔自分の成績〕

	0~250万円未満	250~500万円未満	500~750万円未満	750万円以上
良いほう	11.0%	11.1%	17.2%	28.7%
どちらかと言うと良いほう	15.0%	18.6%	23.4%	24.2%

※結果報告書では学年ごとに掲載

〔成績の重要性〕

	0~250万円未満	250~500万円未満	500~750万円未満	750万円以上
非常に重要である	27.6%	31.5%	36.7%	39.9%
重要である	39.9%	43.4%	38.7%	40.1%

※結果報告書では学年ごとに掲載

【5 子どもの家庭生活・地域とのかかわり】

- 子どもが夕食を「一人で食べる」とした割合は、両親世帯よりも母子・父子世帯で高くなっています。[報告書 P17]

〔夕食を一緒に食べる人〕

	両親世帯	母子世帯	父子世帯
一人で食べる	7.8%	10.6%	16.7%

- 子ども部屋の有無、塾や習い事、家族旅行などの、子どもの生活環境や学習環境、経験において、年収階層による差がみられます。[報告書 P18]

〔経済的に持てない・できない〕

	0~250万円未満	250~500万円未満	500~750万円未満	750万円以上
子ども部屋	11.5%	9.2%	3.4%	1.3%
習い事に通わず	39.0%	25.9%	8.2%	3.0%
学習塾に通わず	51.6%	37.7%	17.7%	7.0%
年1回くらい家族旅行やキャンプに行く	30.2%	21.4%	8.6%	2.7%

- 年収が低い世帯の子どもほど、アルバイトをしている割合が高く、その理由では「生活費」や「学費」のためとする割合が高くなっています。[報告書 P20・P21]

〔アルバイトの有無〕

	0~250万円未満	250~500万円未満	500~750万円未満	750万円以上
している	31.8%	25.2%	15.6%	8.2%

〔アルバイトの理由〕

	0~250万円未満	250~500万円未満	500~750万円未満	750万円以上
生活費(家賃・食費・光熱水費)	28.2%	16.2%	12.1%	8.8%
学費(授業料)	21.1%	13.2%	10.3%	11.8%
学費(教材費)	19.7%	8.8%	6.9%	11.8%

【6 経済状況・教育費】

- 年収の低い世帯の子どもほど、家の暮らし向きが苦しいと感じています。

[報告書 P23]

〔家の暮らし向き〕

	0~250 万円未満	250~500 万円未満	500~750 万円未満	750万円 以上
大変苦しい	8.5%	3.9%	1.4%	1.3%
やや苦しい	24.4%	16.1%	8.4%	5.1%

- 年収の低い世帯ほど、「家族が必要とする食料を買えなかった」などの経済的理由による困難事例の割合が高くなっています。 [報告書 P23・P24]

〔家族が必要とする食料を買えなかった経験〕

	0~250 万円未満	250~500 万円未満	500~750 万円未満	750万円 以上
よくあった	5.9%	2.3%	0.5%	0.3%
ときどきあった	13.0%	8.0%	3.4%	1.1%
まれにあった	22.1%	16.2%	7.4%	3.3%

〔冬に暖房が使えなかった経験〕

	0~250 万円未満	250~500 万円未満	500~750 万円未満	750万円 以上
よくあった	1.2%	0.8%	0.2%	0.1%
ときどきあった	6.5%	2.4%	0.9%	0.3%
まれにあった	9.9%	6.3%	1.9%	0.9%

- 年収の高い世帯ほど、塾や習い事などの教育費の支出が高くなっています。

[報告書 P25・P26]

〔塾・家庭教師等の費用〕

	0~250 万円未満	250~500 万円未満	500~750 万円未満	750万円 以上
5千円~1万円未満	7.5%	10.1%	14.4%	13.6%
1~2万円未満	7.1%	8.6%	9.1%	13.6%
2万円以上	3.4%	6.3%	10.2%	18.6%

〔習い事等の費用〕

	0~250 万円未満	250~500 万円未満	500~750 万円未満	750万円 以上
5千円~1万円未満	11.2%	17.0%	21.7%	21.9%
1~2万円未満	5.5%	7.2%	11.6%	14.6%
2万円以上	3.9%	3.0%	3.7%	7.2%

【7 子どもの進路・進学費用】

- 子どもの進学希望も保護者の意向もともに、年収の高い世帯ほど「大学」以上とする割合が高くなっています。 [報告書 P28・P29]

〔進学希望(意向)：大学以上〕

		0~250 万円未満	250~500 万円未満	500~750 万円未満	750万円 以上
小5・中2	子ども	19.3%	24.2%	35.6%	51.8%
	保護者	19.6%	29.0%	44.1%	69.9%
高2	子ども	26.5%	35.1%	44.5%	69.0%
	保護者	19.0%	28.4%	43.0%	64.0%

- 年収が低い世帯ほど、進学に伴う金銭的準備の「目処が立っていない」とする割合が高くなっています。 [報告書 P30]

〔進学に伴う金銭的準備〕

		0~250 万円未満	250~500 万円未満	500~750 万円未満	750万円 以上
めどが立っていない	小5・中2	39.5%	33.9%	17.9%	5.2%
	高2	30.5%	20.7%	8.8%	4.5%

【8 悩みや相談・親子関係】

- 子どもについての悩みを抱える保護者の割合が、軒並み全道値より高くなっています。

〔報告書 P31〕

〔子どもとの時間がもてない〕	旭川市10.4%、北海道 7.9%
〔親子関係〕	旭川市 8.3%、北海道 6.3%
〔子どもの発達やしつけ〕	旭川市20.4%、北海道17.8%
〔子どもの学習や進路〕	旭川市43.9%、北海道39.3%
〔子どもの就職〕	旭川市11.2%、北海道 8.4%

- 両親世帯よりも母子・父子世帯において、子どもや自分自身の悩みを相談する人がいない割合が高くなっています。〔報告書 P32〕

〔相談相手〕

		両親世帯	母子世帯	父子世帯
いない	子どもについての悩み	1.4%	4.8%	8.1%
	保護者自身の悩み	3.7%	10.0%	11.4%

- 両親世帯よりも母子世帯において、子どもの面倒をみてくれる人がいない割合が高くなっています。〔報告書 P33〕

〔子どもの面倒をみてくれる人〕

	両親世帯	母子世帯
いない	8.7%	12.7%

【9 住環境】

- 住環境に対する満足度では、子どもを遊ばせられるスペースの広さや遮音性などで経済的な格差がみられます。〔報告書 P36・P37〕

〔住環境に対する満足度：「不満」「やや不満」〕

	0~250万円未満	250~500万円未満	500~750万円未満	750万円以上
子どもを遊ばせるスペースの十分さ	36.4%	35.3%	25.5%	18.4%
遮音性	48.5%	40.8%	29.2%	21.4%

【10 制度等の利用状況・支援策へのニーズ】

- 情報を得る手段として、「インターネット検索」を利用する割合が21.5%と、全道値と比較して6.5ポイント高くなっています。〔報告書 P38〕

- 年収が低い世帯ほど、子育て支援施策の各種制度やサービスについて「まったく知らなかった」とする割合が高くなっています。また、両親世帯よりも母子世帯で、その割合は高くなっています。〔報告書 P39・P40・P41〕

〔各種制度やサービス：「まったく知らなかった」〕

	0~250万円未満	250~500万円未満	500~750万円未満	750万円以上	両親世帯	母子世帯
子育て短期支援事業	20.7%	19.8%	14.0%	11.9%	15.6%	20.1%
ファミサポ/緊急さほねっと	17.7%	16.0%	11.7%	9.2%	12.7%	15.3%

- 支援策へのニーズとして、経済的負担の軽減や、学費や奨学金などの情報を得る機会の提供を求める声が多くなっています。〔報告書 P42・P43〕

〔高校・大学の進学費用の負担軽減〕	93.9%
〔子ども医療費の負担軽減〕	85.5%
〔学費や奨学金などの情報を得る機会の提供〕	82.8%

〔注意〕比較対象とした全道値は、北海道と北海道大学が平成28年度に実施した「北海道子どもの生活実態調査」の報告値としています。（同調査の実施地域は、旭川市を含む13市町であり、札幌市は含まれていません。）